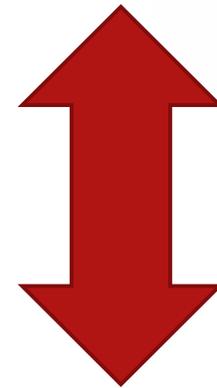


サイコパシーの要素と Dark Triad特徴との関連

喜入 暁（大阪経済法科大学）

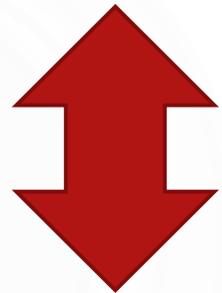
問題と目的

- サイコパシー複数の側面
 - 一次性サイコパシー (Primary Psychopathy: PP)
 - 二次性サイコパシー (Secondary Psychopathy: SP)
- Dark Triad (Paulhus & Williams, 2002)
 - マキャベリアニズム
 - ナルシシズム
 - サイコパシー ← 多くは単一概念として扱われる

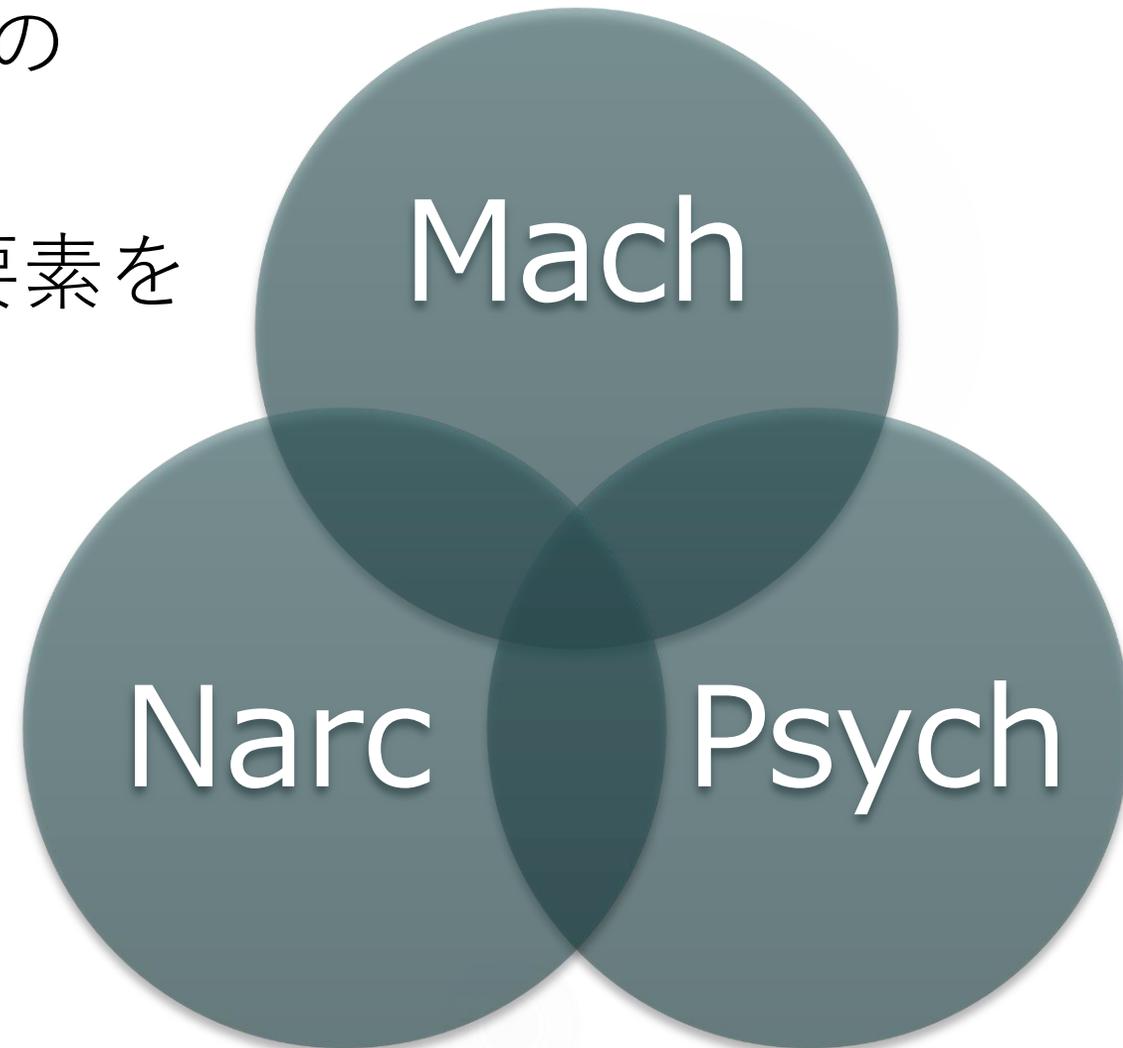


問題と目的: Dark Triadのアプローチ

- 社会的に迷惑をかけがちな3つのパーソナリティ
- 「社会的悪意特性という共通要素を持つパーソナリティ群」

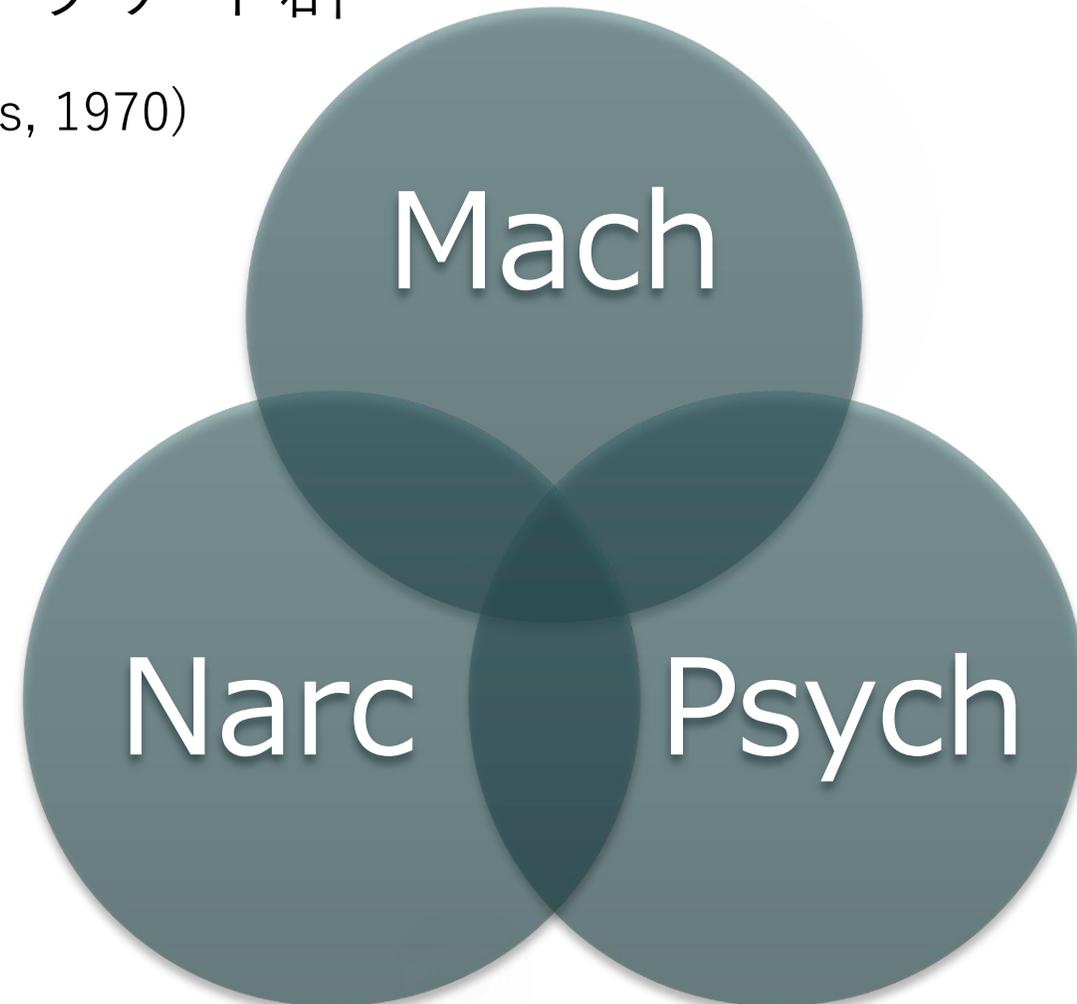


- 独自の要素も想定される。



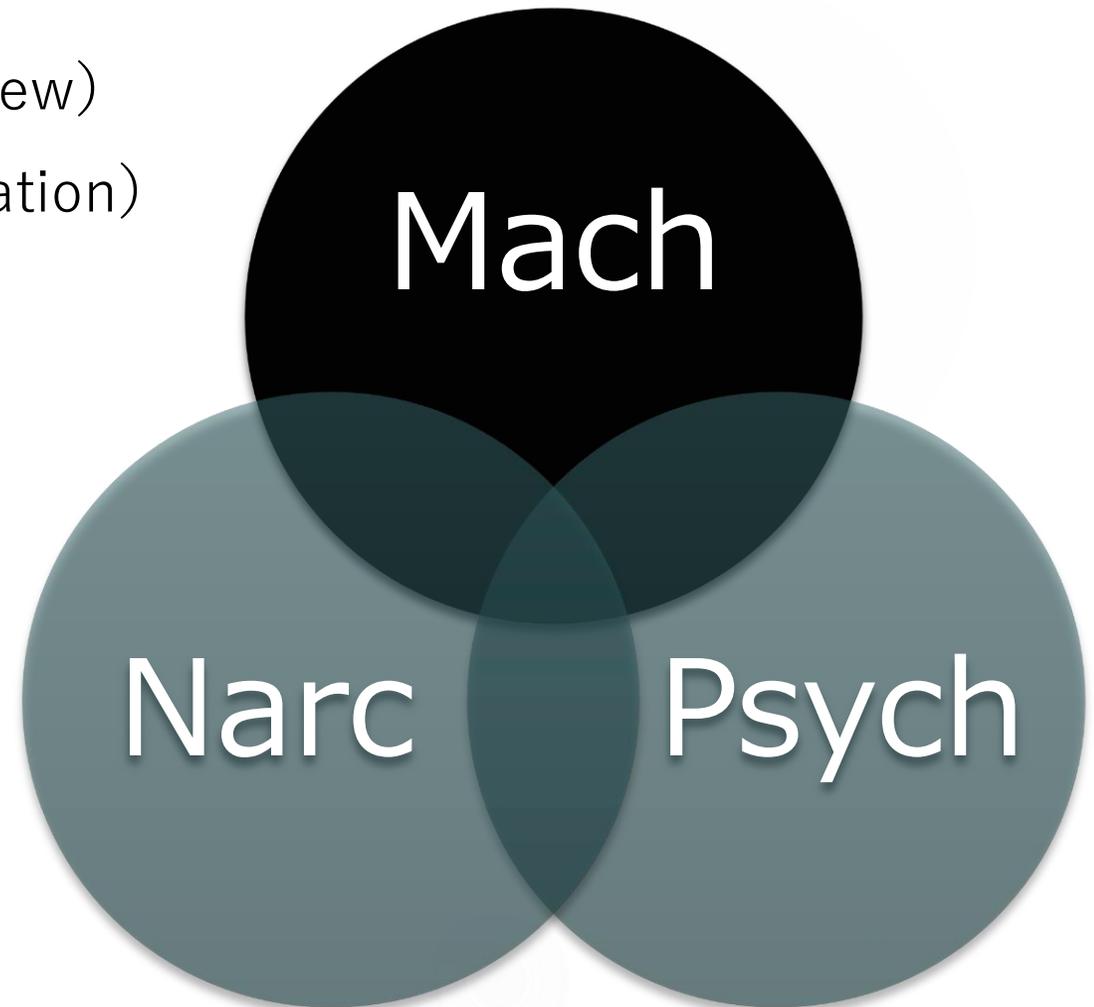
問題と目的: Dark Triadのアプローチ

- 社会的に望ましくない3パーソナリティ群
 - マキャベリアニズム (Christie & Geis, 1970)
 - ナルシシズム (Raskin & Hall, 1979)
 - サイコパシー (Hare, 1985)
- それぞれに共通要素
 - 共感性の欠如
 - 他者操作的
 - 自己中心性



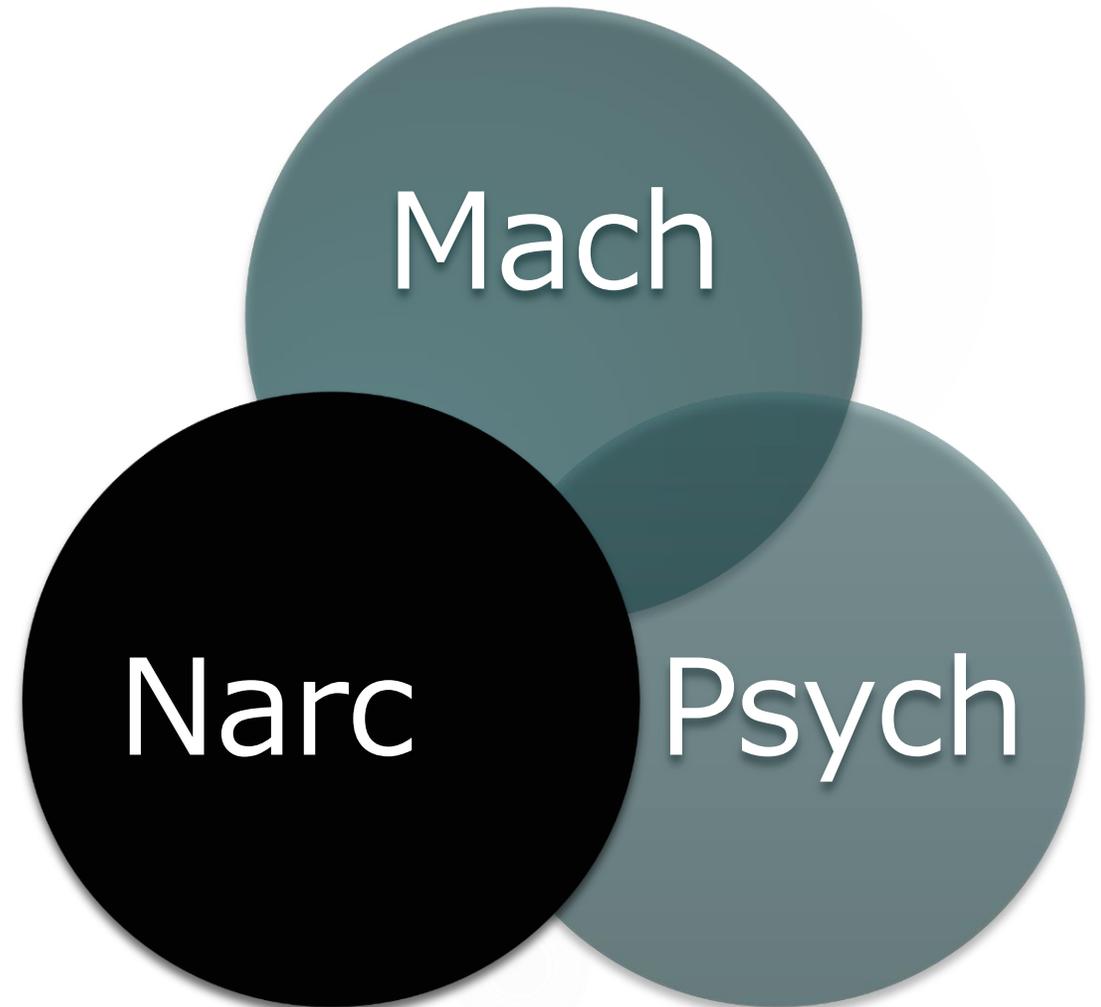
問題と目的: Dark Triadのアプローチ

- マキャベリアニズム
 - シニカルな世界観 (cynical worldview)
 - 戦術的対人操作性 (tactic manipulation)
 - モラルの軽視
- 直感的には,
 - 合理的思考
 - そのために他者がどうなっても知ったこっちゃない



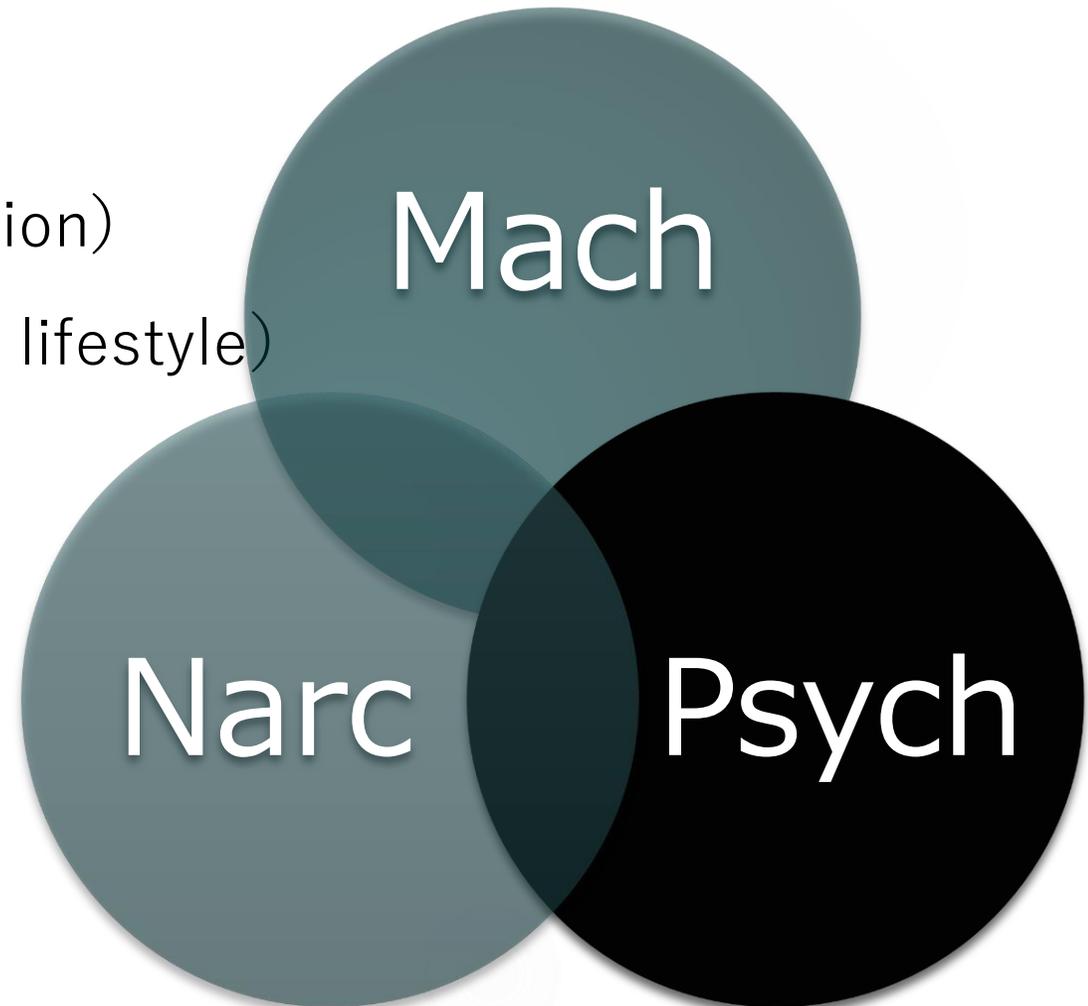
問題と目的: Dark Triadのアプローチ

- ナルシシズム
 - 誇大感 (grandiose)
 - 特権意識 (entitlement)
 - 優越性 (dominance)
 - 自己顕示 (self-presentation)
- 直感的には,
 - 他者によく思われるために他者をダシにする



問題と目的: Dark Triadのアプローチ

- サイコパシー
 - 冷淡な感情 (callous affect)
 - 対人操作 (interpersonal manipulation)
 - 不安定ライフスタイル (erratic lifestyle)
 - 反社会行動 (antisocial behavior)
- 直感的には,
 - えーい, やっちなえー



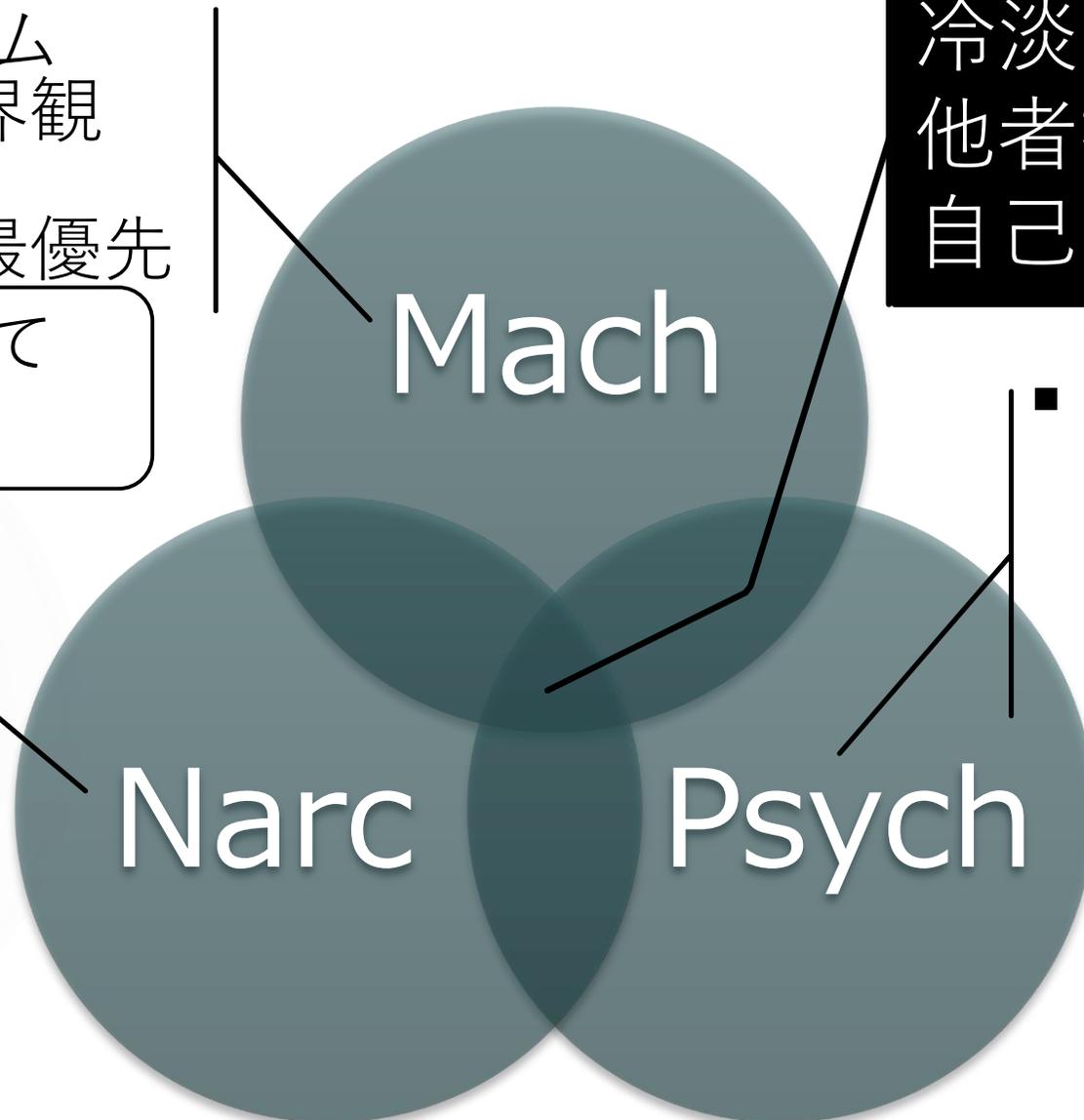
問題と目的: Dark Triadのアプローチ

- マキャベリアニズム
 - シニカルな世界観
 - 道徳性の軽視
 - 自身の利益を最優先

他人がどうなってもしーらない

- ナルシシズム
 - 誇大性
 - 自己顕示性
 - 称賛欲求

他者は自分をよく見せるためのダシ



冷淡さ
他者操作性
自己中心性

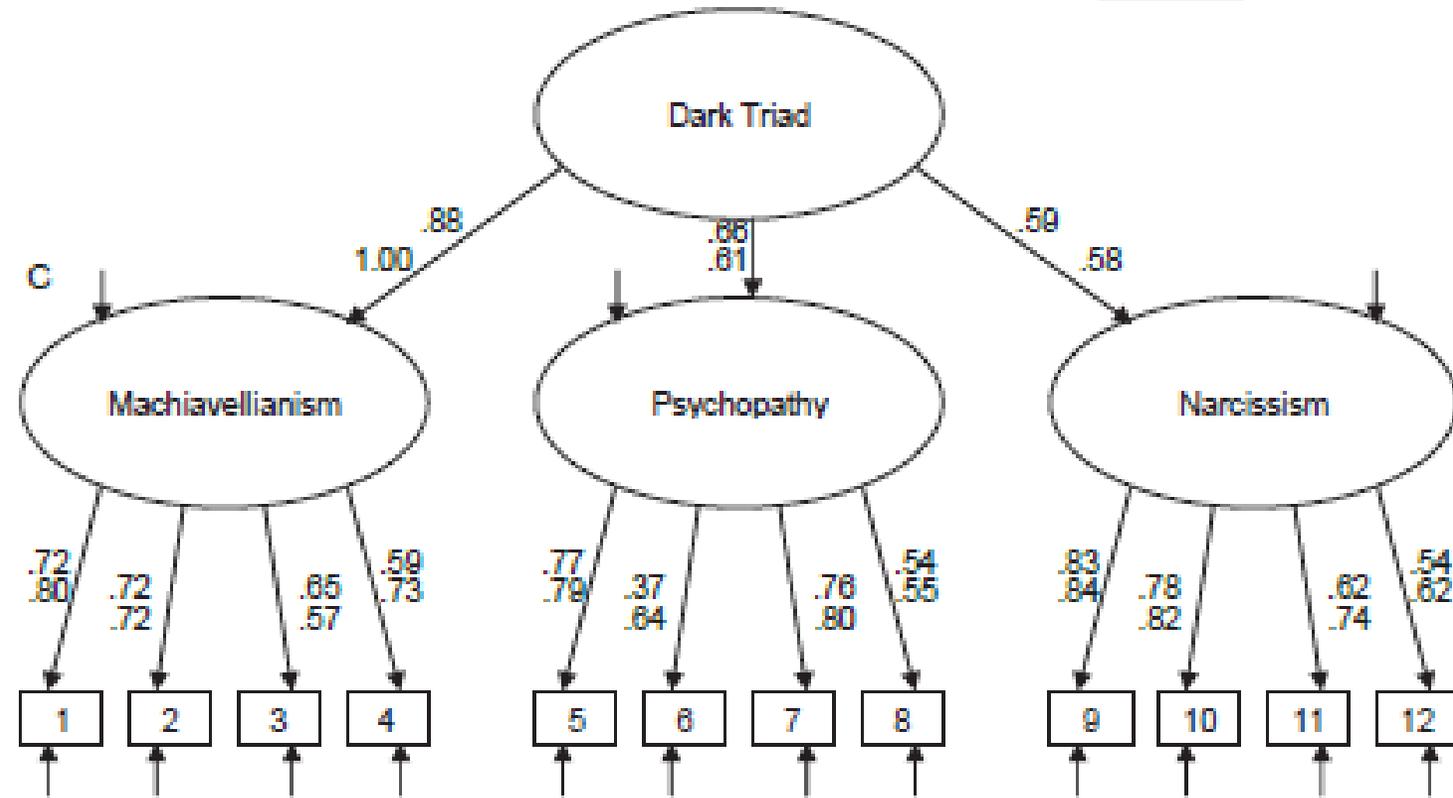
Dark Core

- サイコパシー
 - 共感性の欠如
 - 対人操作性
 - 不安定な生活様式
 - 反社会行動

どうにでもなーれ

問題と目的: Dark Triadのアプローチ

- サイコパシーは、あたかも単一高次概念であるDark Triadの下位概念のように扱われることも多い。
 - Dark Triadは、あるパーソナリティというよりも、パーソナリティ群では？

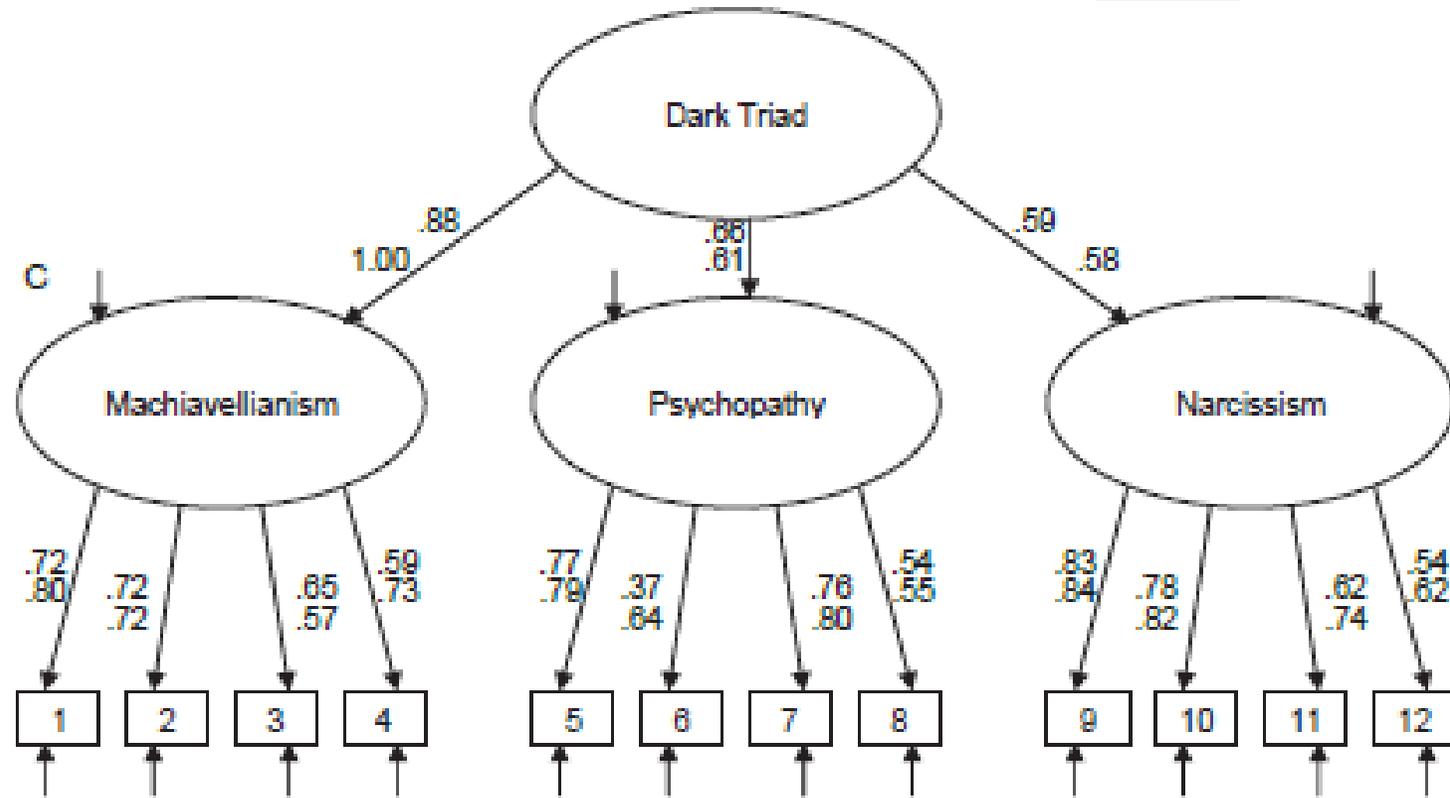
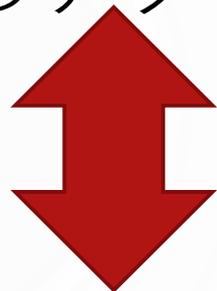


Jonason & Webster, 2010

“共通するが弁別されうる概念”
(Paulhus & Williams, 2002)

問題と目的: Dark Triadのアプローチ

- 共通要素を抽出して他の変数との関連を検証することにも意味があるように思われる。
 - よりジェネラルな傾向へのアプローチ



Jonason & Webster, 2010

- 構造を把握したうえで扱う必要があるだろう。

“共通するが弁別されうる概念”
(Paulhus & Williams, 2002)

問題と目的: Dark Triadとサイコパシー

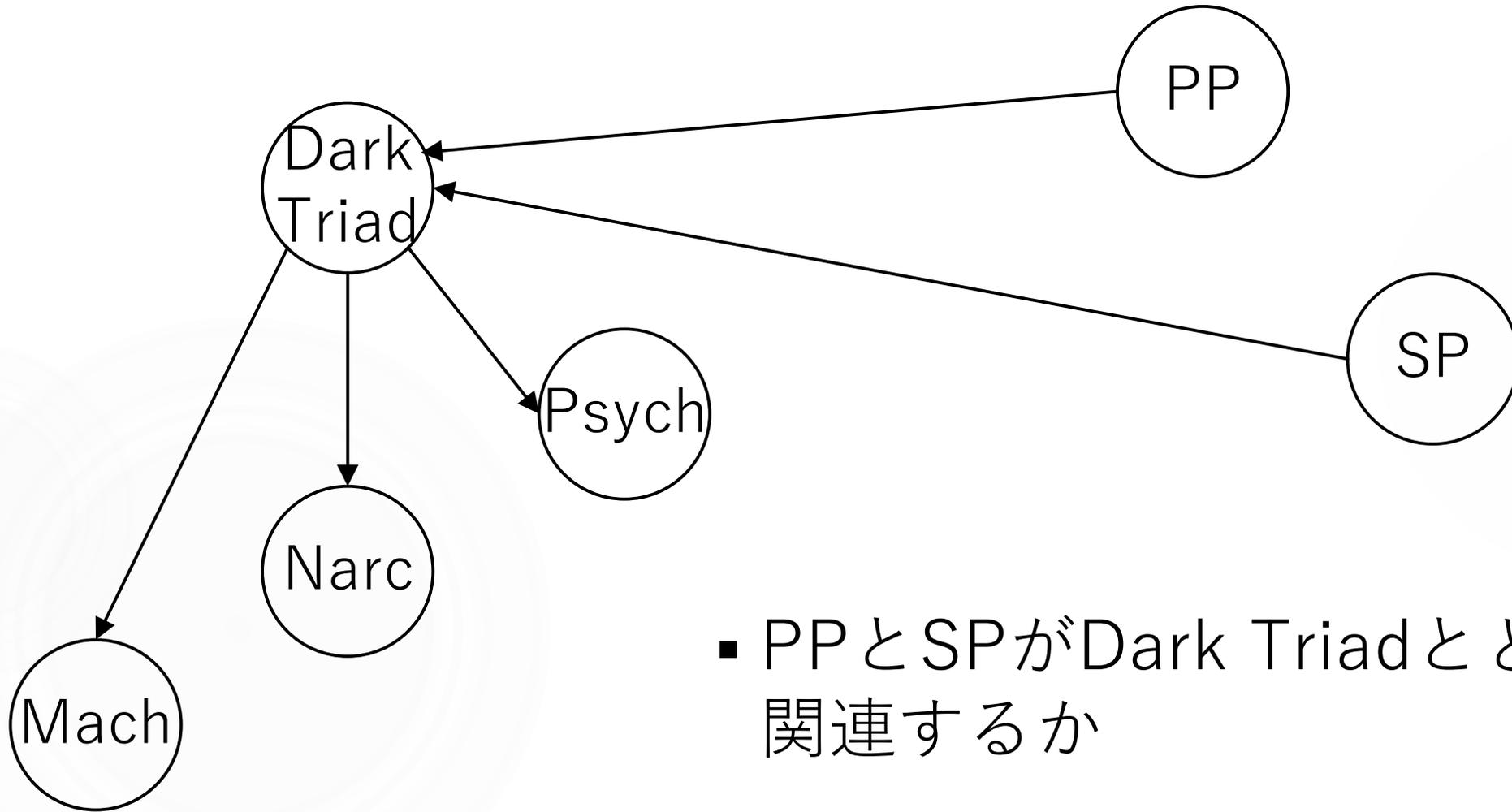
11

	Dark Triad	サイコパシー
冷淡さ 他者操作性	共通要素 or マキャベリアニズム	一次性サイコパシー → サイコパシーの核
衝動性 反社会性	サイコパシーの特有の 要素	二次性サイコパシー → 反社会性PDと弁別 できない

- Dark Triadの枠組みでは、サイコパシーは衝動の要素
- 本来、サイコパシーの核は冷淡さと他者操作性

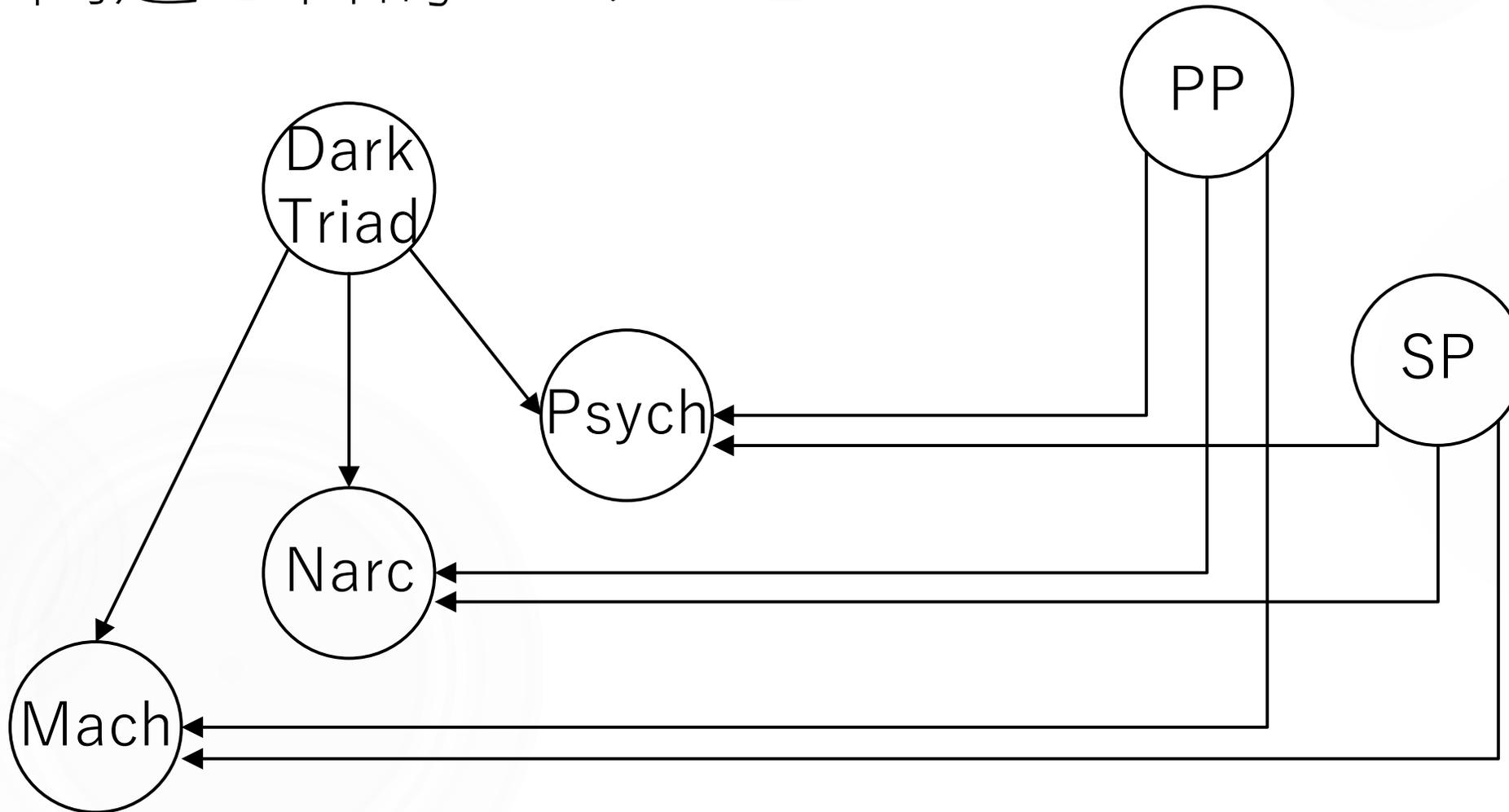
- 他のパーソナリティとの共通要素は確かに存在する。
- Dark Triadの枠組みを用いてサイコパシーの構造を検証してみる。
 - Dark Triadの枠組みでのサイコパシーと、一次性・二次性サイコパシーとの関連を検証することを目的とした。

問題と目的: モデル1



- PPとSPがDark Triadとどのように関連するか

問題と目的: モデル2



- PPとSPがDark Triadの各要素とどのように関連するか

方法

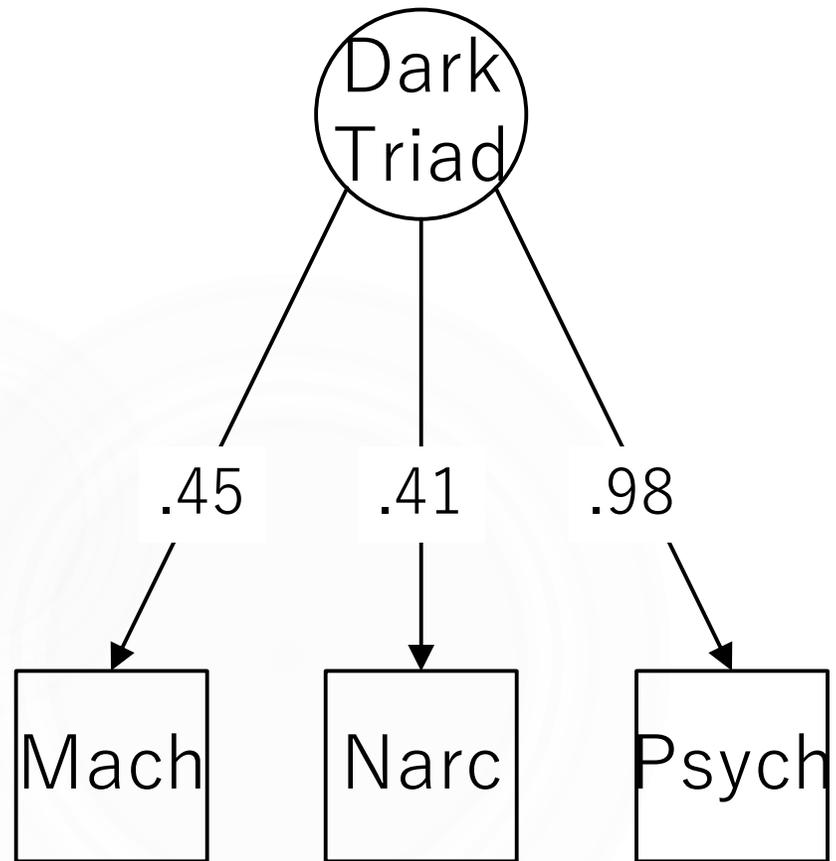
■ 参加者

- 大学生207名（男性181，女性26，平均20.2歳，SD = 1.43）

■ 測定

- 日本語版Short Dark Triad (SD3-J: 下司・小塩, 2017)
 - 他の誰かに自分の秘密を教えないということは賢明なことだ(Mach)
 - 周りの人は私を生まれながらのリーダーだと思っている(Narc)
 - 私は目上の人に仕返しや報復をしたいと思うことがある(Psych)
- LSRP (杉浦・佐藤, 2005)
 - 他の人の気持ちを操ることは楽しい (PP)
 - しばしば退屈する (SP)

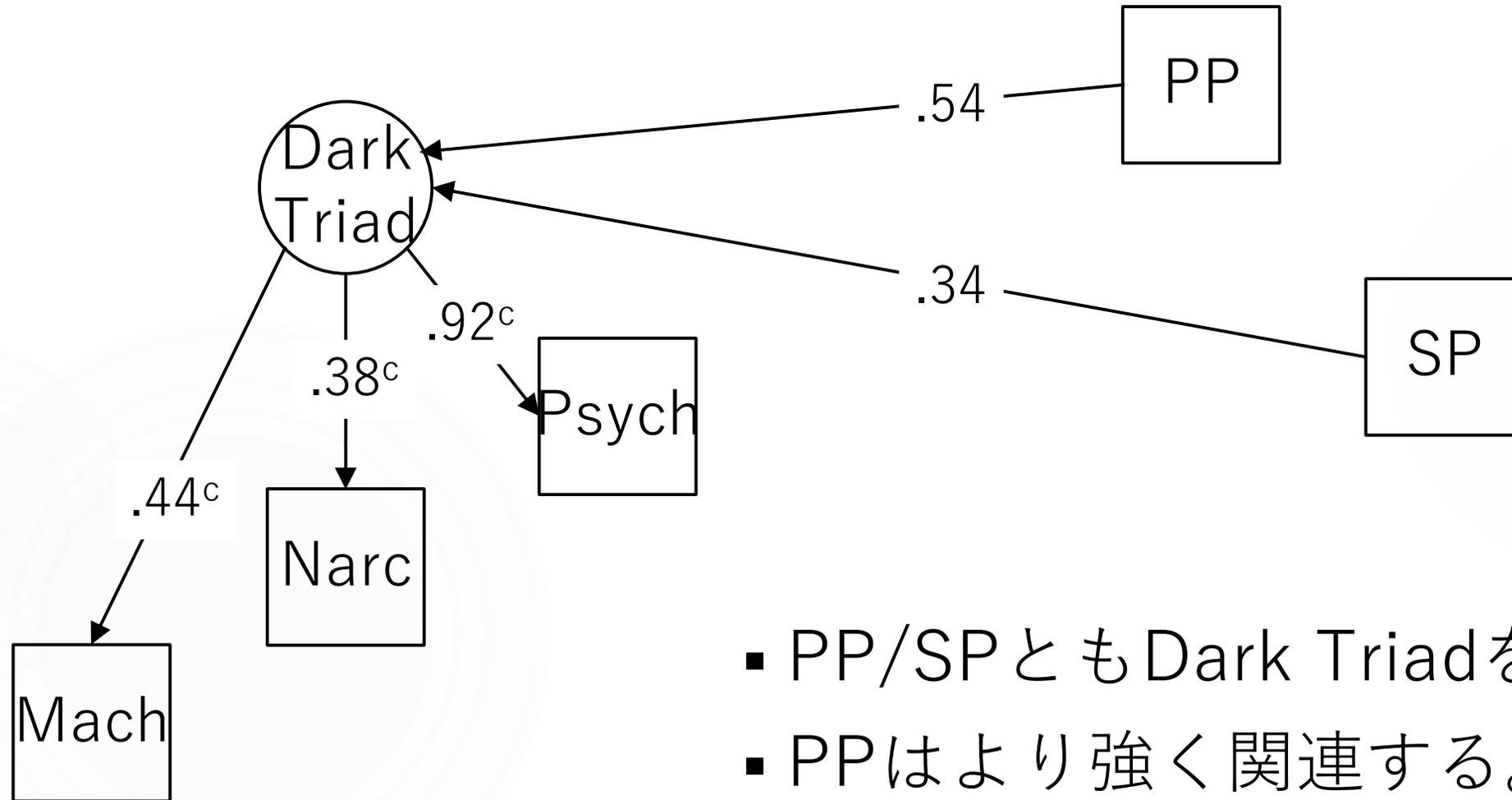
結果: 確証的因子分析



- 各Dark Triadは尺度得点 (平均値)
- Dark Triad因子は潜在因子
- → 係数を固定

結果: モデル1

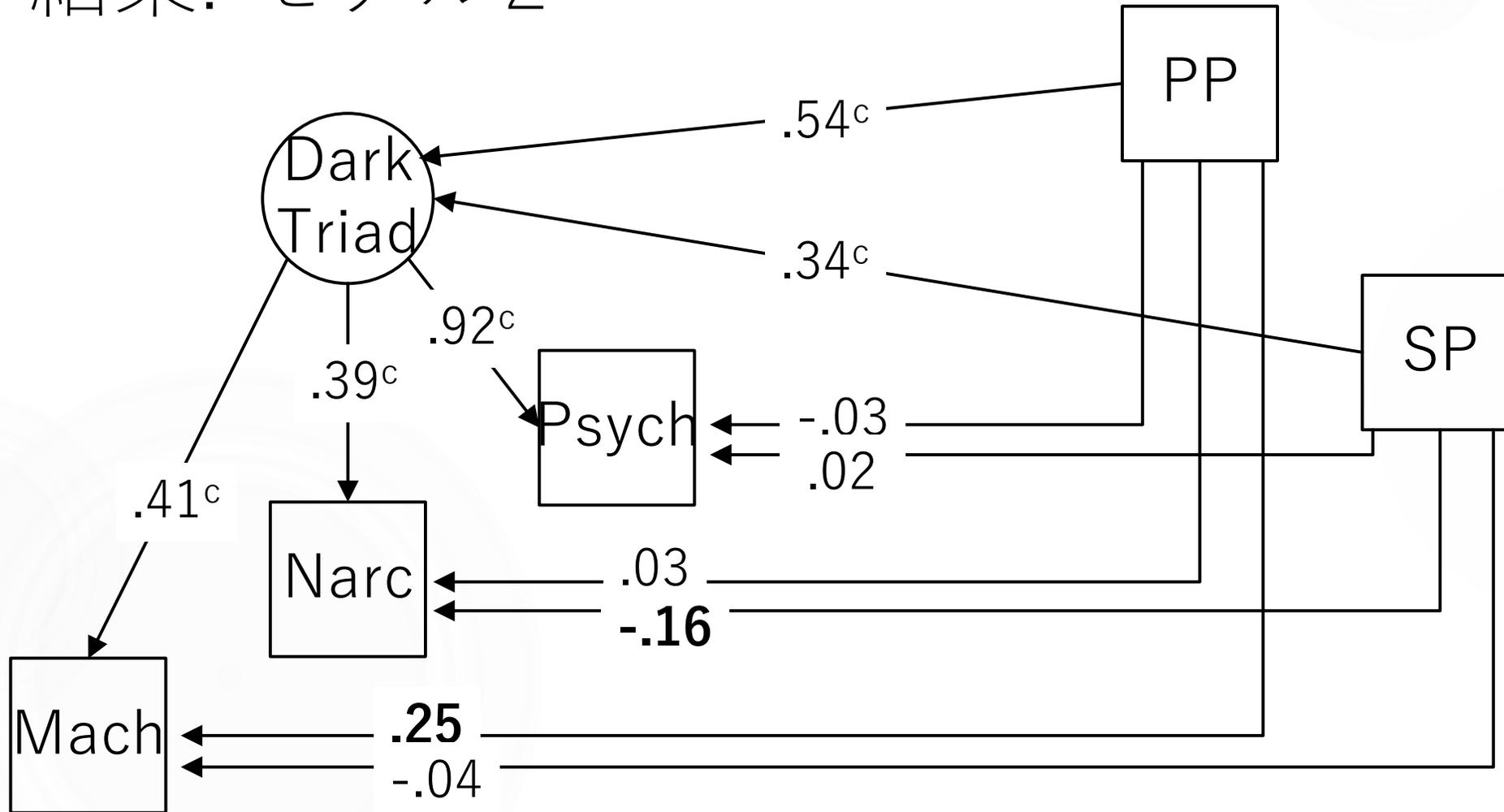
17



- PP/SPともDark Triadを説明する。
- PPはより強く関連する。

^c係数を固定

結果: モデル2



^c係数を固定

- PPはマキャベリアニズムと正の関連
- SPはナルシシズムと負の関連

■ 知見

- PP/SPはいずれもDark Triadと正の関連
 - 関連の強さはPP > SP
- Dark Triad因子抽出後のマキャベリアニズムはPPと正の関連
- Dark Triad因子抽出後のナルシシズムはSPと負の関連

■ 考えられること

- PP/SPとも他のダークパーソナリティと共通要素を持つ
- PPとマキャベリは近い概念 (Miller et al., 2016)
- SPはナルシの独自要素を持たない傾向にある

